

# 令和6年能登半島地震 1月1日16時10分発生 気象庁マグニチュード7.6、震源深さ16km (暫定値) 最大震度7 (石川県志賀町、輪島市)

## 震度5強

富山市、高岡市、氷見市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村

富山県においても、住宅倒壊、液状化による住宅被害や道路・港湾施設  
および水道、農地・農業施設の変状等の甚大な被害が県内全域で発生

富山県内の土砂災害 13件 人的・重大な物的被害なし (令和6年2月8日時点)

がけ崩れ11件、地すべり2件

氷見市7件 (うち地すべり2件)、富山市2件、高岡市2件、滑川市1件、南砺市1件

氷見市園 (2) 地区 がけ崩れ



高岡市東海老坂 (4) 地区 がけ崩れ



高岡支援学校の  
施設に被害

がんばろう富山！  
がんばろう北陸！



©富山県 1

## 令和6年 能登半島地震による富山県内の土砂災害

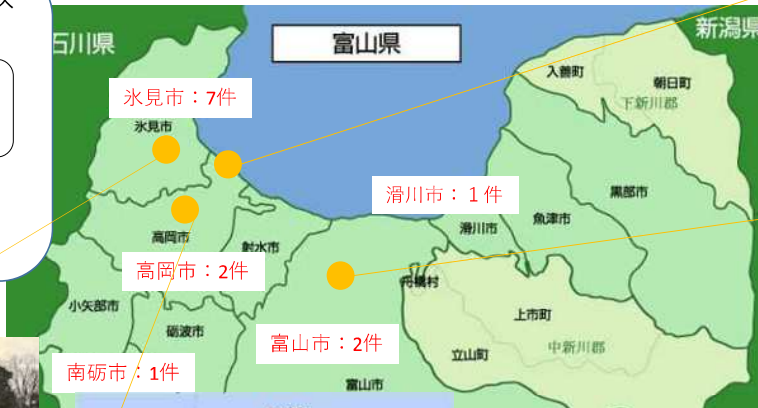
土砂災害発生件数

**13件**

(土石流等：0件)  
地すべり：2件  
がけ崩れ：11件

【被害状況】  
人的被害：なし

その  
氷見市園



おれた  
高岡市太田



大型土のう設置完了

よしづくり  
富山市吉作



大型土のう設置完了

ひがしえびさか  
高岡市東海老坂



大型土のう設置完了

推計震度分布図  
(気象庁)

- ・揺れが大きかったエリアと堆積岩(砂岩・泥岩)のエリアが一致。
- ・氷見市を中心に、小規模な斜面崩落が多く発生。
- ・氷見市の地すべりは、クラックのような小規模な変状が多くみられるものの、大きな変状は確認されない。

## 施設効果事例 雨晴（1）地区

斜面崩落から建物5棟（津波の指定避難所である道の駅を含む）を保全



- ・道の駅雨晴の隣接斜面が崩落、1m程度の落石あり
- ・道の駅雨晴の背後斜面を含む、法枠＋待受擁壁工を整備した範囲は斜面の崩落を防止
- ・道の駅雨晴は、高岡市の津波の指定緊急避難場所（富山県には津波警報が発表された）約30名が避難

3

## 施設効果事例 惣領（5）地区

斜面崩落から公民館（市の指定緊急避難場所）を保全

法枠＋落石防護柵工



<土砂災害の指定緊急避難場所となる経緯>

- ・H23～R3 県による施設整備
  - R5 6/26 県によるレッドゾーンの解除
  - ・氷見市による土砂災害の指定緊急避難場所の指定
- ※ただし、土砂災害の可能性が高まった場合は山側からできるだけ離れて避難

- ・仏生寺公民館（ひみラボ水族館、旧仏生寺小学校）の隣接斜面が崩落、50cm程度の落石あり
- ・仏生寺公民館の背後斜面を含む、法枠＋落石防護柵工を整備した範囲は斜面の崩落を防止
- ・仏生寺公民館は、氷見市の地震、土砂災害、洪水の指定緊急避難場所 能登半島地震時にも避難所となった（約100名が避難）

4



**がけ崩れ  
法枠工の整備**

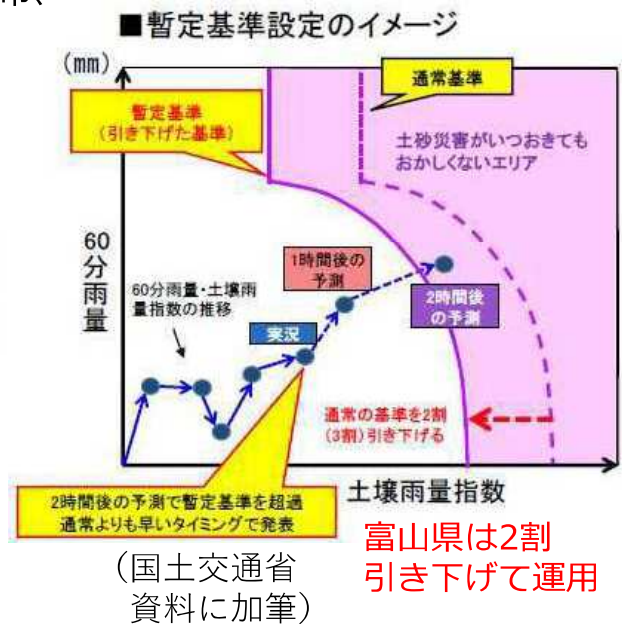


・指定避難所の公民館1棟等にかかるレッドゾーンを解除

**土砂災害警戒情報の発表基準の引き下げ**

1/1の地震後から、震度5強を観測した市町では、土砂災害警戒情報の発表基準を8割に引き下げて運用。（いわゆる暫定基準での運用）  
→ 避難のリードタイムが短くなっています。

対象発表区分：富山市平地、高岡市、氷見市、小矢部市、射水市、南砺市



- ・過去の地震の例では、震度5強エリアでも通常基準より少ない降雨で土砂災害が発生。
- ・梅雨期・台風等、今後の降雨の経験状況を鑑み、通常基準に戻すことを検討。

## 大きな地震の後は土砂災害がおりやすくなっています

### ①危険な斜面、溪流に近づかない

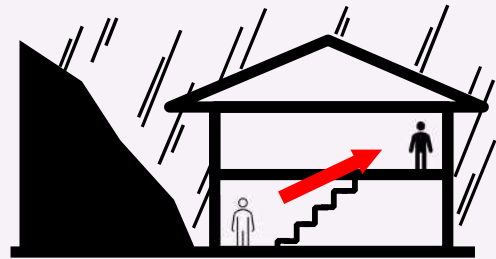
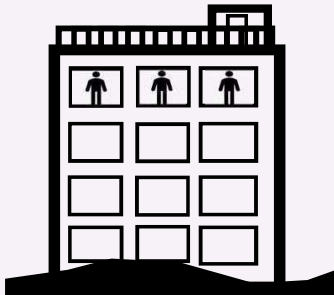
亀裂のある斜面、崩壊した土砂のたまっている溪流などに近づかない

### ②少しでも危ないと感じたら避難しましょう

- ・ハザードマップを確認し、原則として、土砂災害警戒区域の外に避難しましょう（市町村の指定した避難場所、親戚・友人の家、宿泊施設等）

#### 避難場所に避難できない場合の「次善の策」

- ・近隣の堅牢な高い建物（鉄筋コンクリート造等）の高層階へ移動
- ・自宅外への避難に余裕がない場合や、既に自宅の外が危険な状況の場合、斜面と反対側の2階以上の部屋に避難



県・地方气象台では危険が高まった場合、土砂災害警戒情報※を公表します

※震度5強を観測した地域では、土砂災害警戒情報の発表基準を引き下げた暫定基準（通常基準の8割）として運用しています。

市町村からの避難指示が発令された場合は危険な場所から避難してください！

7

## 地震後の土砂災害調査

- ・NPO法人富山県砂防ボランティア協会による、氷見市の地すべり防止区域の概略調査（1/5）に実施。



論田・熊無地区



胡桃地区

クラック等の小さな変状を多く確認。応急的な対応が必要な箇所は確認されなかった。

→地すべりについては、震度の大きかったエリアを中心に今後、業務委託等による詳細調査を実施予定。

- ・富山県との協定に基づく（一社）斜面防災対策技術協会による県内各地の調査